

# 2023年3月期（第39期） 第1四半期 決算補足資料



---

2022年7月29日

テクマトリックス株式会社（コード：3762）



- ◆ 2021年3月期の有価証券報告書より、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。
- ◆ 本資料に記載される業績等については、原則すべてIFRSベースで記載をしております。  
ただし、2019年3月期（第36期）以前の業績等について記載がある部分については、それらは日本基準で記載をしております。



# 1. 第 1 四半期 業績報告



- 売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれも**過去最高**を記録。

- ・情報基盤事業：

クラウド型のセキュリティ対策製品の需要が引き続き拡大。

- ・アプリケーション・サービス事業：

ソフトウェア品質保証分野は、受注が好調だが、サブスクリプション化が進展し売上収益・営業利益の計上が繰延傾向。

教育分野は、新規事業として積極的に投資継続中。

- ・医療システム事業：

事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。クラウドシフトはこれから。

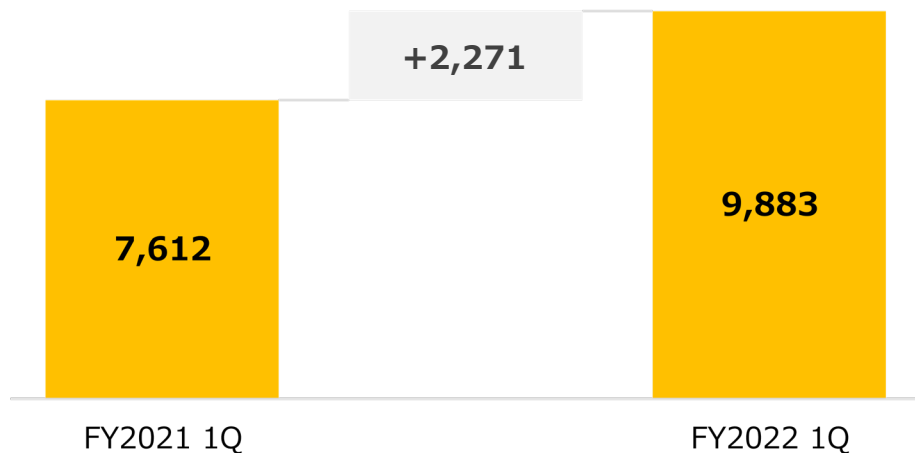
(百万円)

	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
売上収益	7,612	<b>9,883</b>	+2,271 (+29.8%)
営業利益	647	<b>897</b>	+250 (+38.6%)
税引前利益	648	<b>909</b>	+261 (+40.3%)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	427	<b>502</b>	+75 (+17.5%)



## 売上収益

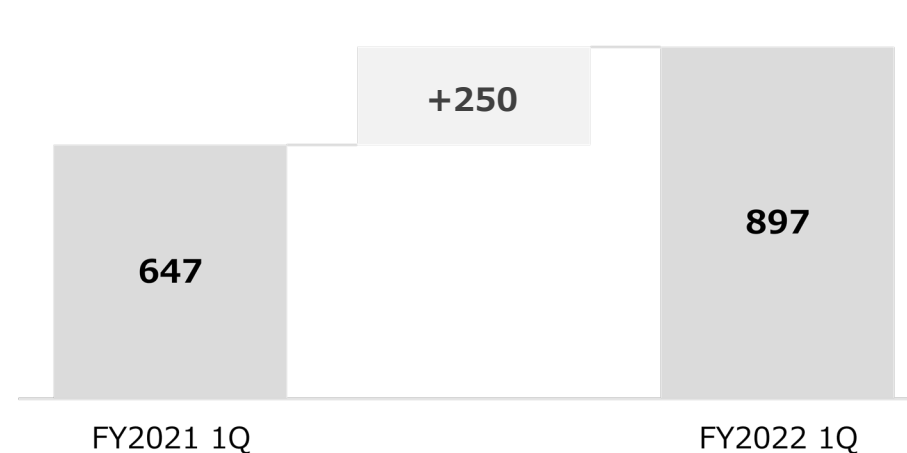
(百万円)



	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
売上収益	7,612	9,883	+2,271 (+29.8%)

## 営業利益

(百万円)

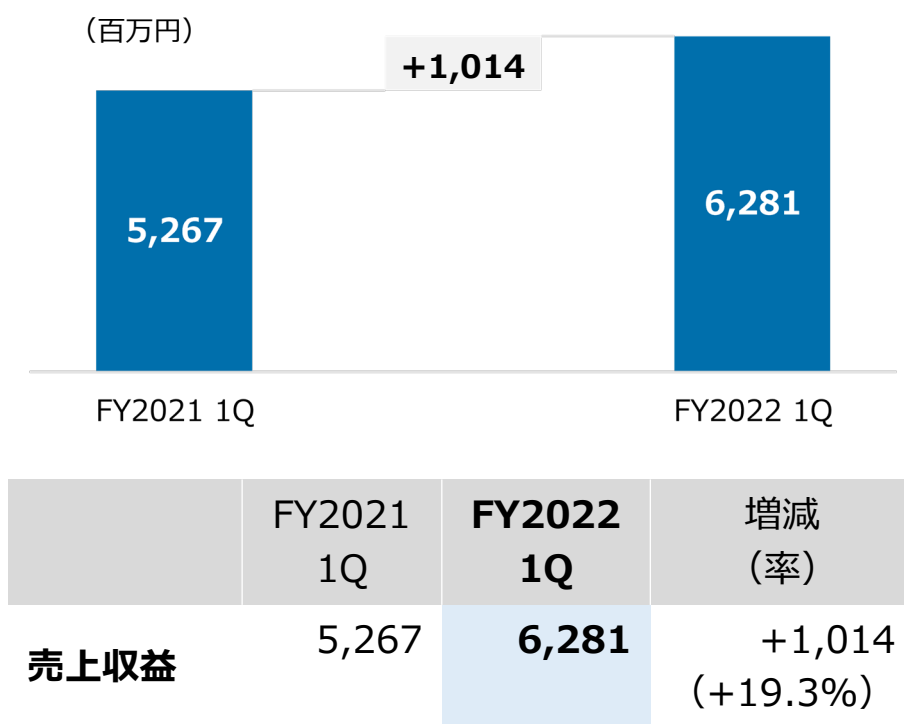


	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
営業利益	647	897	+250 (+38.6%)

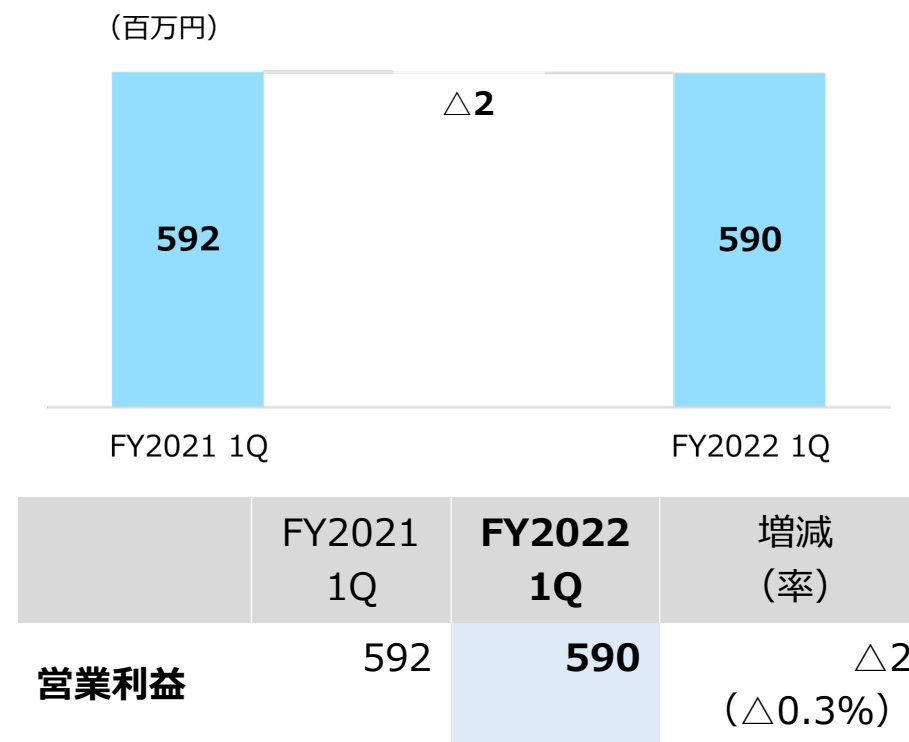


- 売上収益は**過去最高**を記録。営業利益は前年比で減少。
  - (+) サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の引合いが引き続き好調。
  - (+) 統合監視サービスのTechMatrix Premium Support (TPS) は売上収益・営業利益ともに増加。
  - (-) 円安による為替の影響、人件費・販管費、新規事業としてのクラウドネイティブ活用ソリューションへの投資により営業利益は前年比で微減。

## 売上収益



## 営業利益





- 売上収益・営業利益は前年比で減少。

### CRM分野：

(-)サブスクリプション化の進展により売上収益・営業利益の計上が繰延傾向も売上収益・営業利益予算達成。

### ソフトウェア品質保証分野：

(+) 企業向けシステムや組込ソフトウェアの品質を担保するテストツールの需要が堅調。

(-) サブスクリプション化の進展により、売上収益・営業利益の計上が繰延傾向。

### ビジネスソリューション分野：

(-) 受注の遅れにより営業利益が前年比で減少。

### 教育分野

(+) 「ツムギノ (tsumugino)」の導入校数が拡大し売上伸長。

(-) 新規事業として投資段階にあるため営業利益はマイナス。

### 売上収益

(百万円)



FY2021 1Q

FY2022 1Q

	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
売上収益	1,605	1,593	△12 (△0.8%)

### 営業利益

(百万円)



FY2021 1Q

FY2022 1Q

	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
営業利益	△54	△64	△10 (△19.1%)

※アプリケーション・サービス事業のFY2021 1Qは医療分野の数値を含まず。

FY2022より医療システム部門はアプリケーション・サービス事業より分離独立。

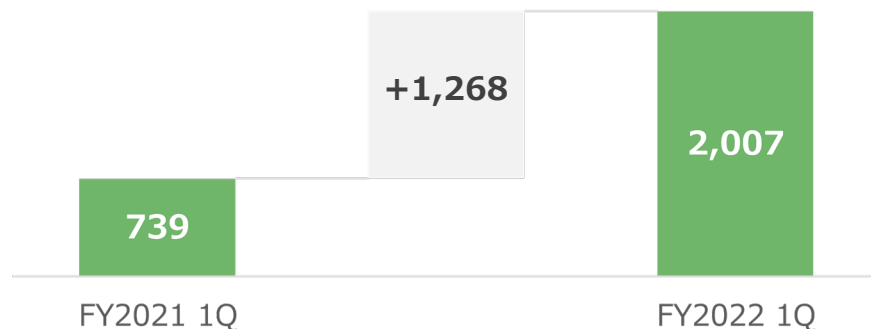
Copyright (c) 2022 TechMatrix Corporation. All rights reserved.



- 売上収益・営業利益は前年比で増加。  
 (+) 医療情報クラウドサービス・PHRアプリ「NOBORI」が順調。  
 (+) 事業統合したPSPの医用画像管理システム (PACS)は順調。クラウドシフトはこれから。
- 医療システム事業部門は、FY2022よりアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。

## 売上収益

(百万円)



	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
売上収益	739	2,007	+1,268 (+171.4%)

## 営業利益

(百万円)



	FY2021 1Q	FY2022 1Q	増減 (率)
営業利益	109	371	+262 (+239.1%)

※医療システム事業のFY2021 1Qの実績は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値。FY2022 1Qの実績は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。

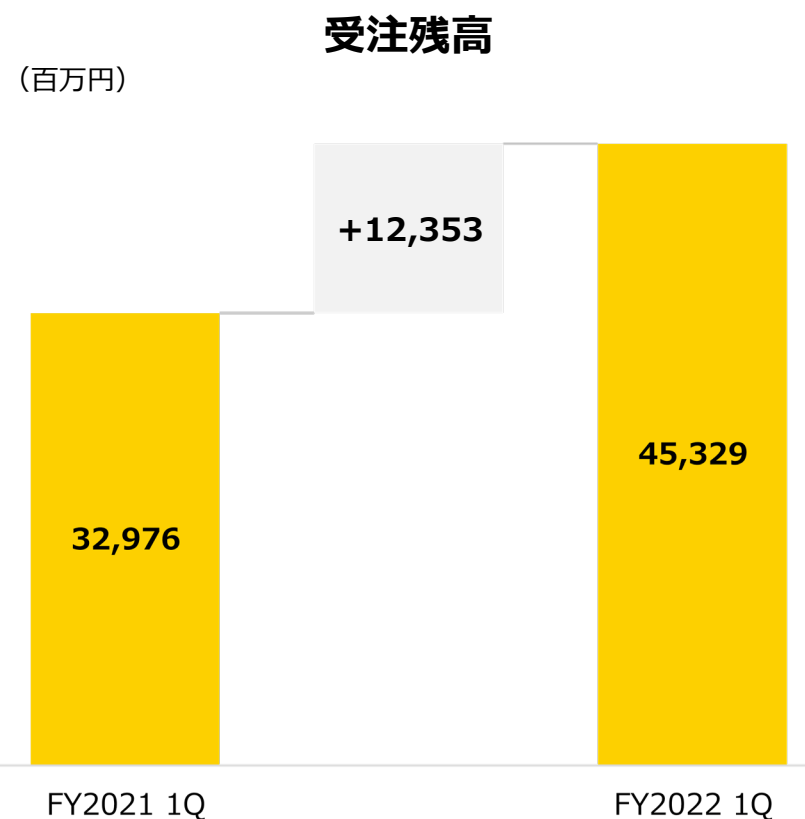
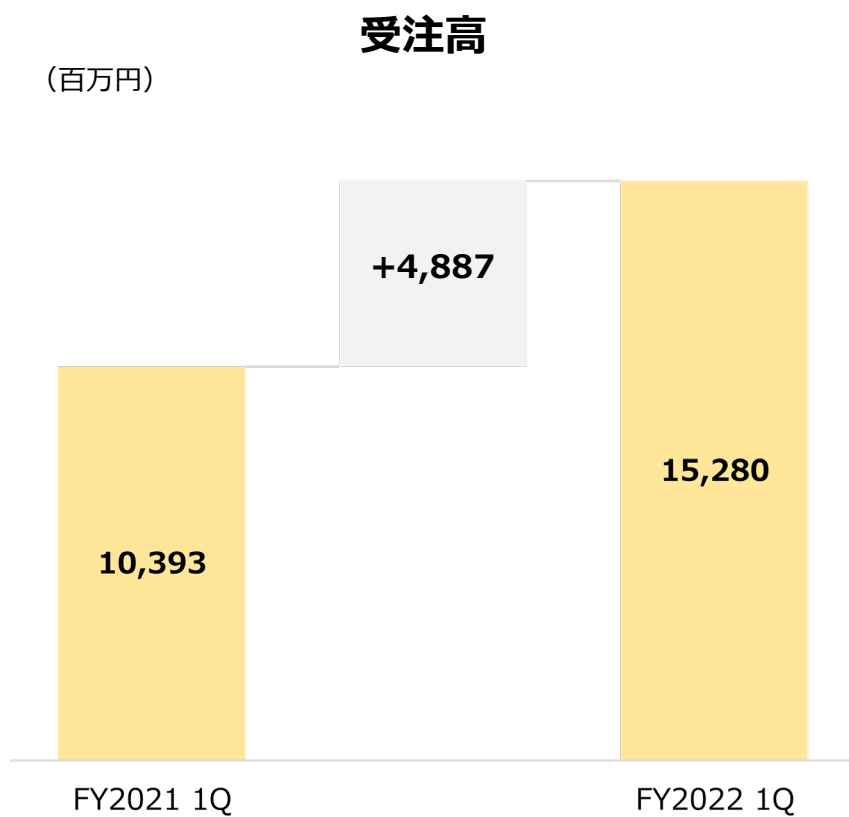




# 2023年度 1Q 受注高と受注残高（連結）

- 連結受注高・連結受注残高は、前年比で情報基盤事業を中心に増加。

## 全社合計

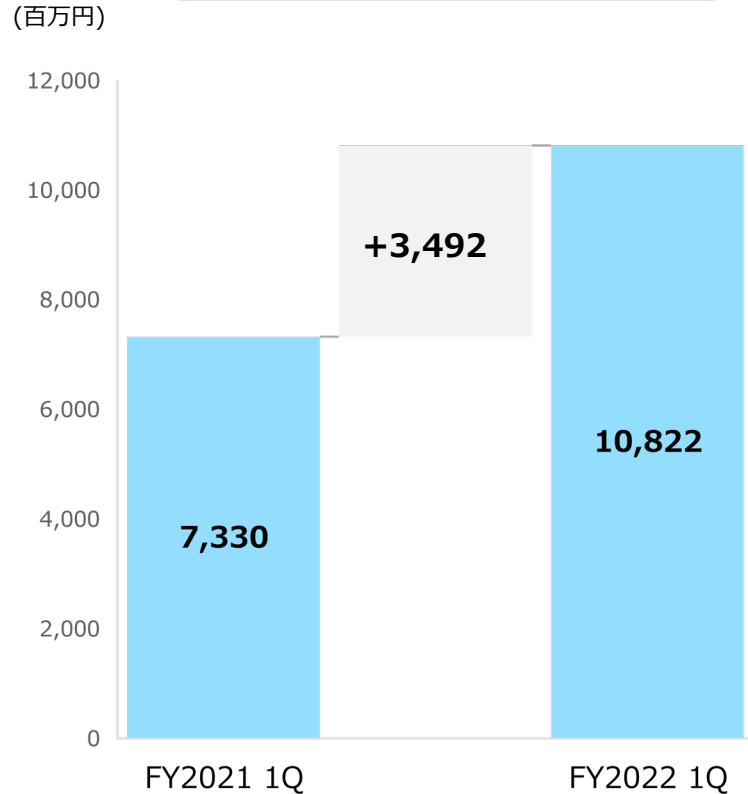




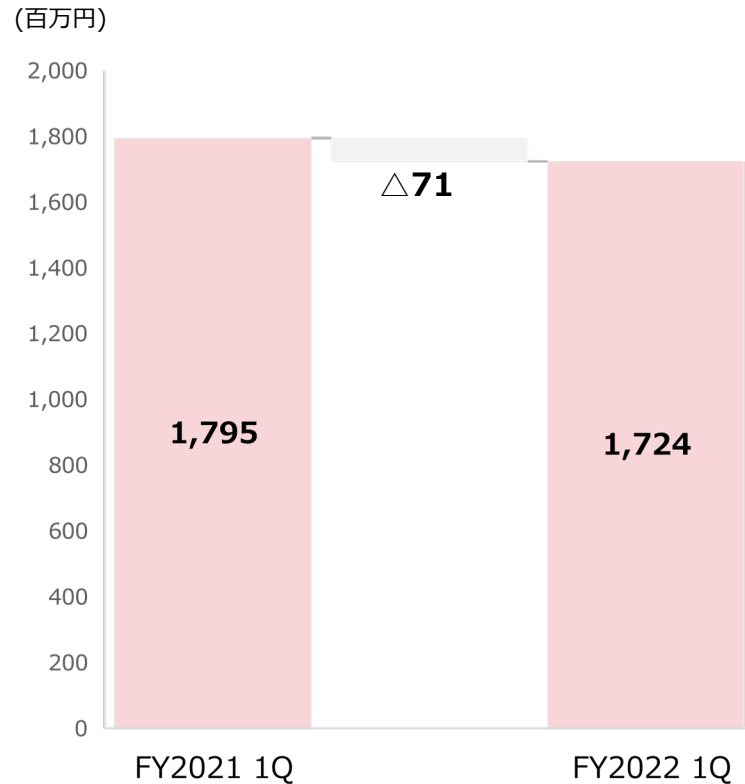
# 2023年度 1Q セグメント別 受注高（連結）

- 情報基盤事業：サブスクリプション型のクラウド型セキュリティ対策製品の引合いが引き続き好調。
- アプリケーション・サービス事業：大型案件をフェーズ分けして受注したこと等により受注の遅れが発生し前年比で減少。
- 医療システム事業：医用画像管理システム（PACS）の受注が順調。

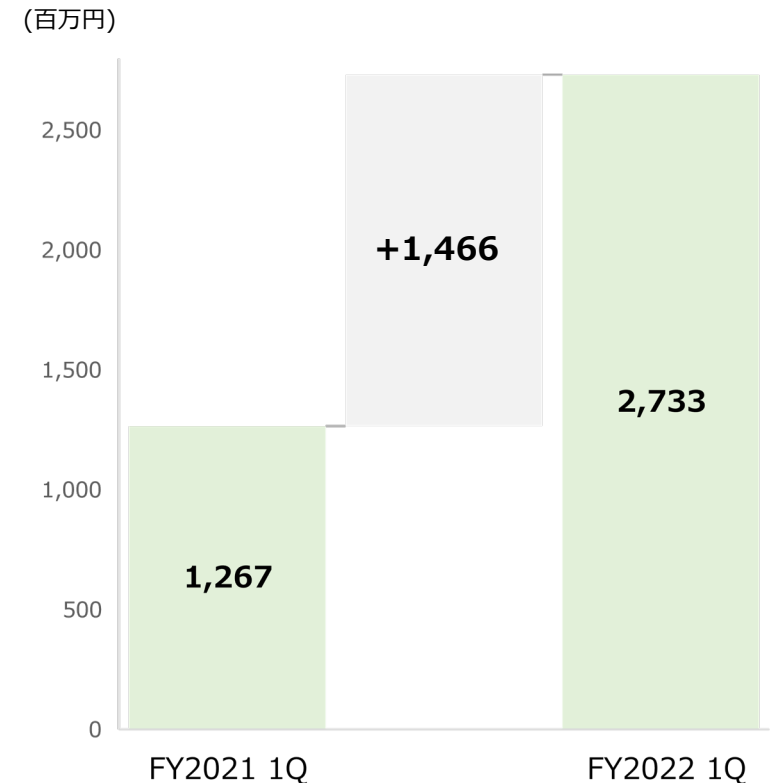
## 情報基盤事業



## アプリケーション・サービス事業



## 医療システム事業



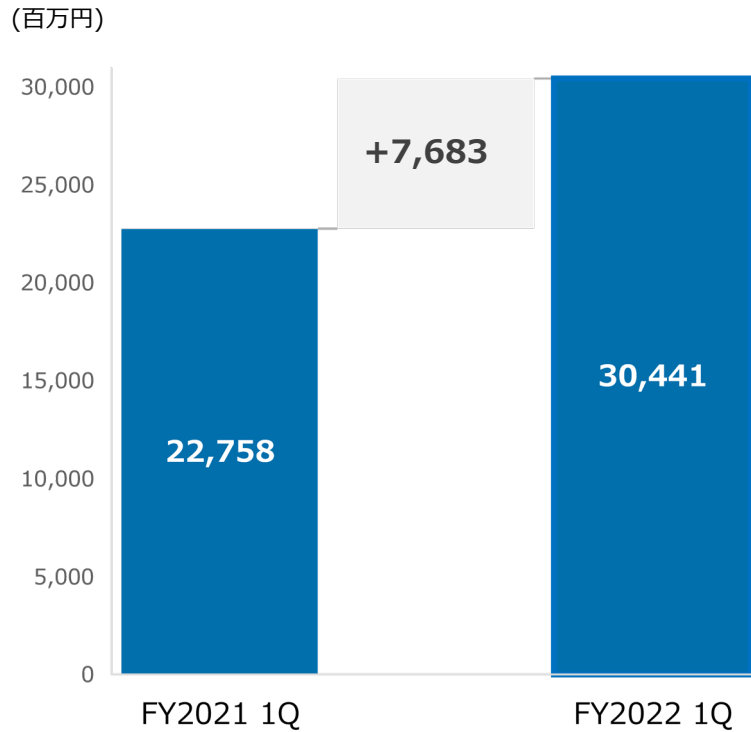
※アプリケーション・サービス事業のFY2021 1Qは医療分野の数値を含まず。FY2022より医療システム事業部門はアプリケーション・サービス事業部門より分離独立。  
 ※医療システム事業のFY2021 1Qの実績は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値。FY2022 1Qの実績は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



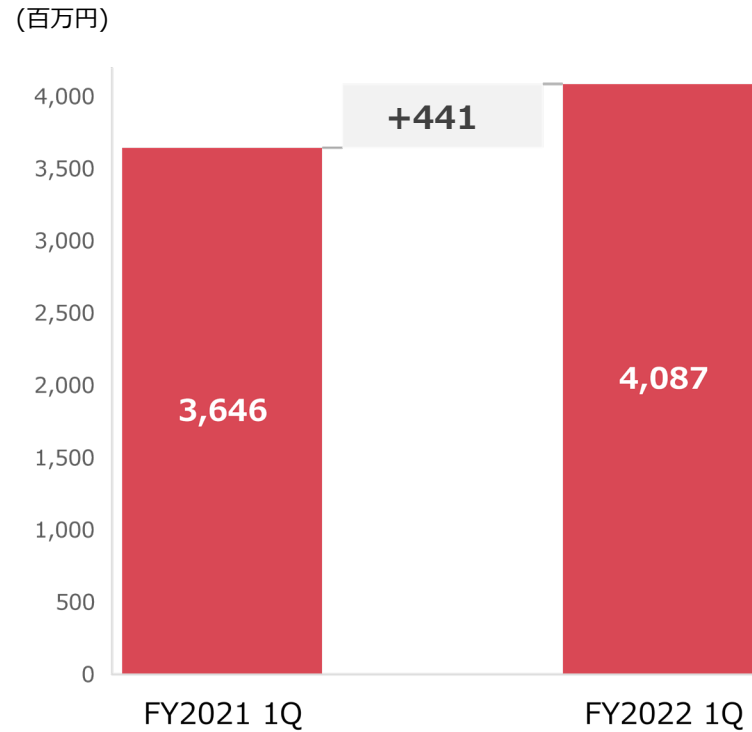
# 2023年度 1Q セグメント別 受注残高（連結）

- サブスクリプション化（ストックビジネス強化）により、増加傾向。

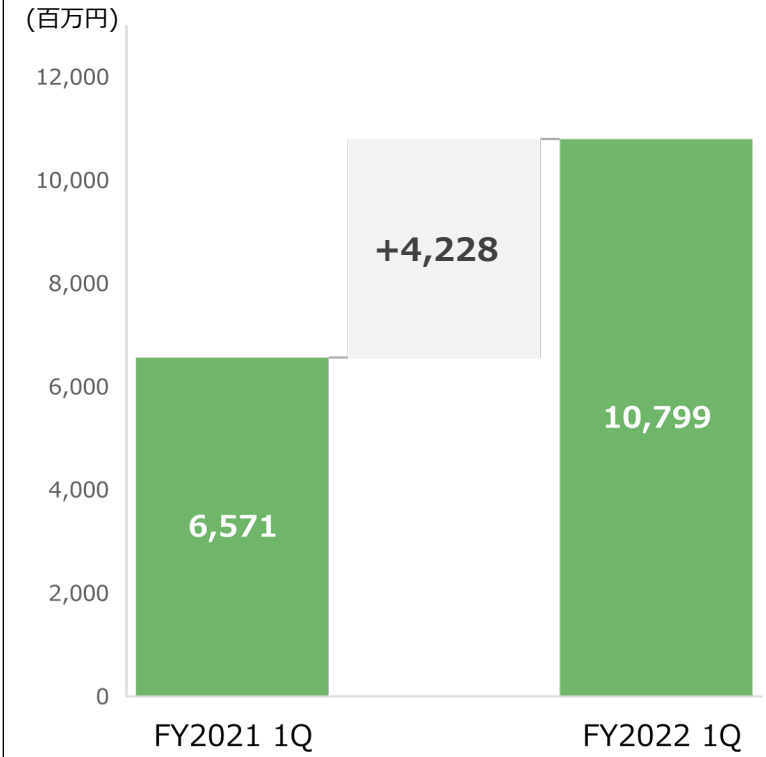
## 情報基盤事業



## アプリケーション・サービス事業



## 医療システム事業



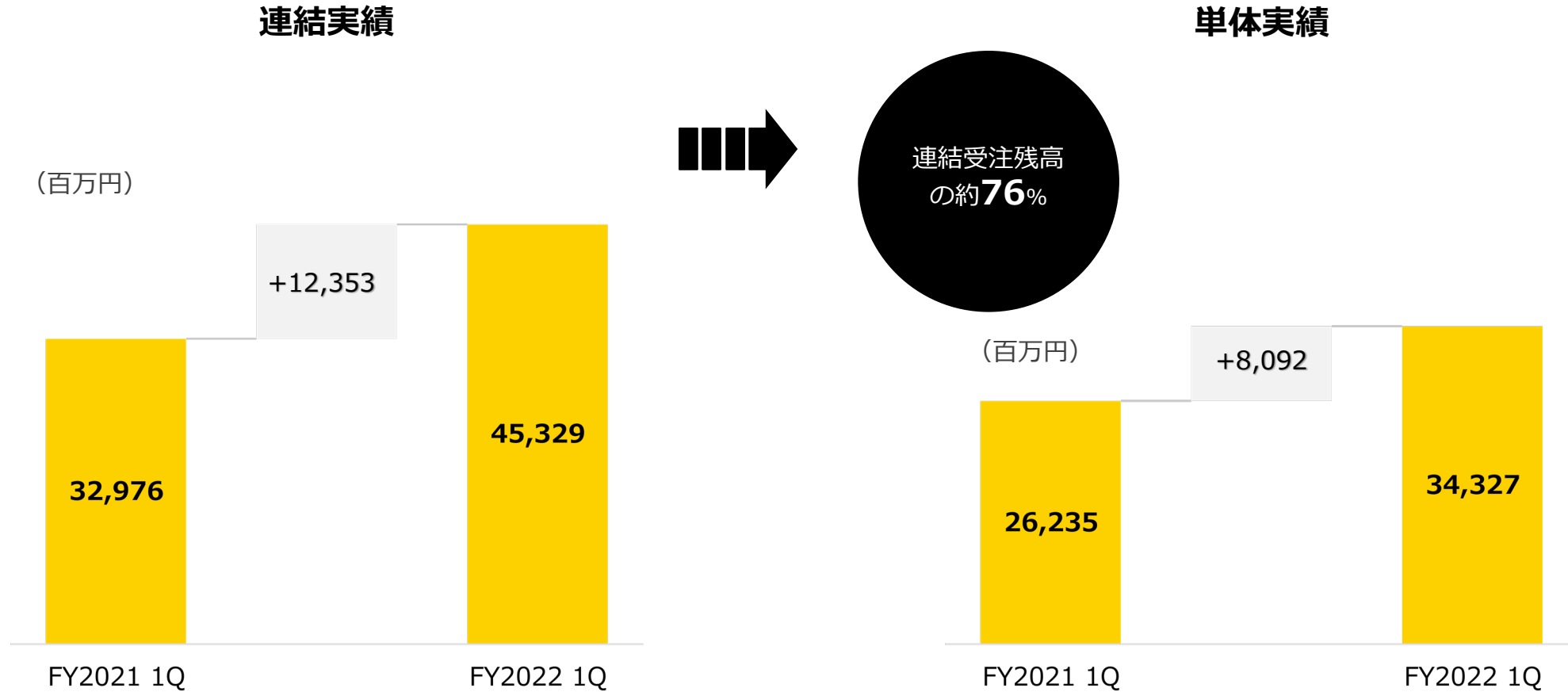
※アプリケーション・サービス事業のFY2021 1Qは医療分野の数値を含まず。FY2022より医療システム部門はアプリケーション・サービス事業より分離独立。

※医療システム事業のFY2021 1Qの実績は旧NOBORI, 医知悟, A-Lineの合計数値。FY2022 1Qの実績は新生PSP, 医知悟, A-lineの合計数値。



# 2023年度 1Q受注残高の状況（単体）

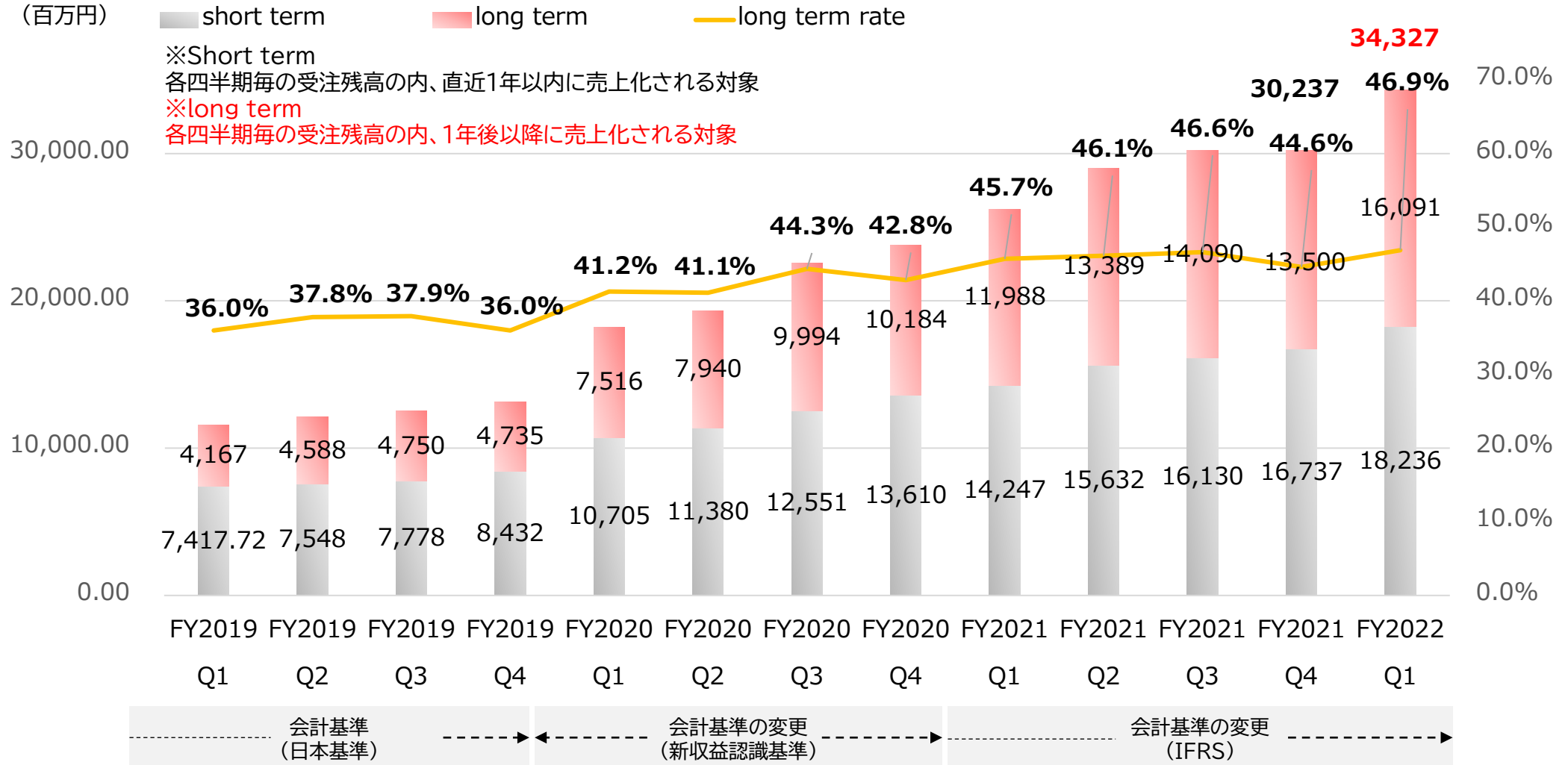
- テクマトリックス単体での受注残高の状況は以下のとおりです。





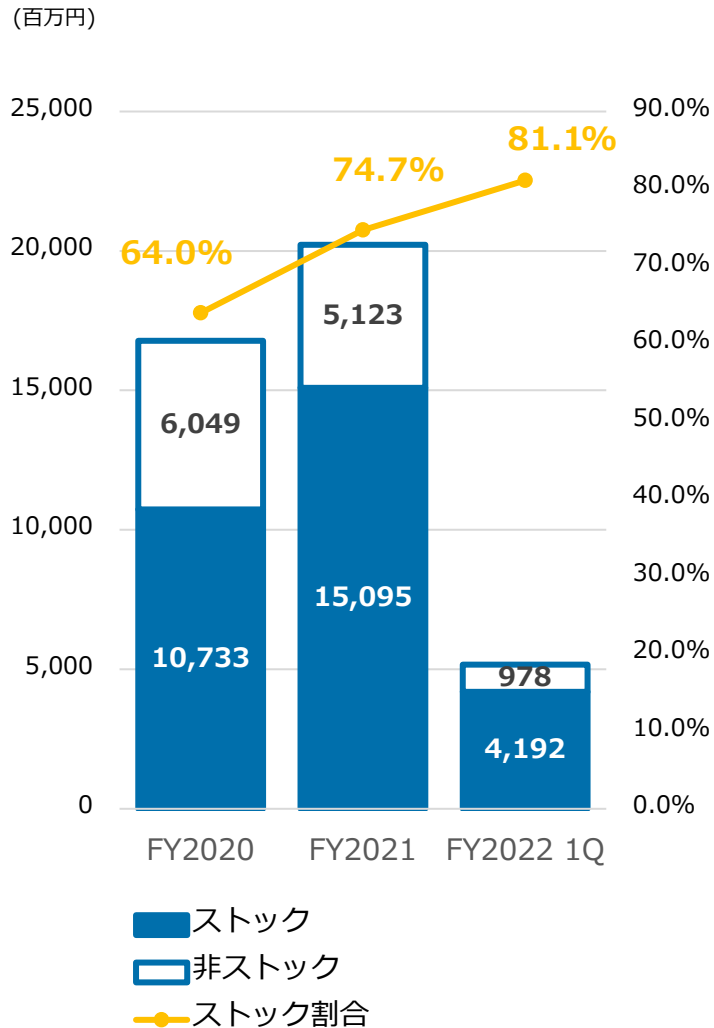
# 2023年度 1Q時点 受注残高（単体全体）

- テクマトリックス単体での受注残高の内訳は以下のとおりです。

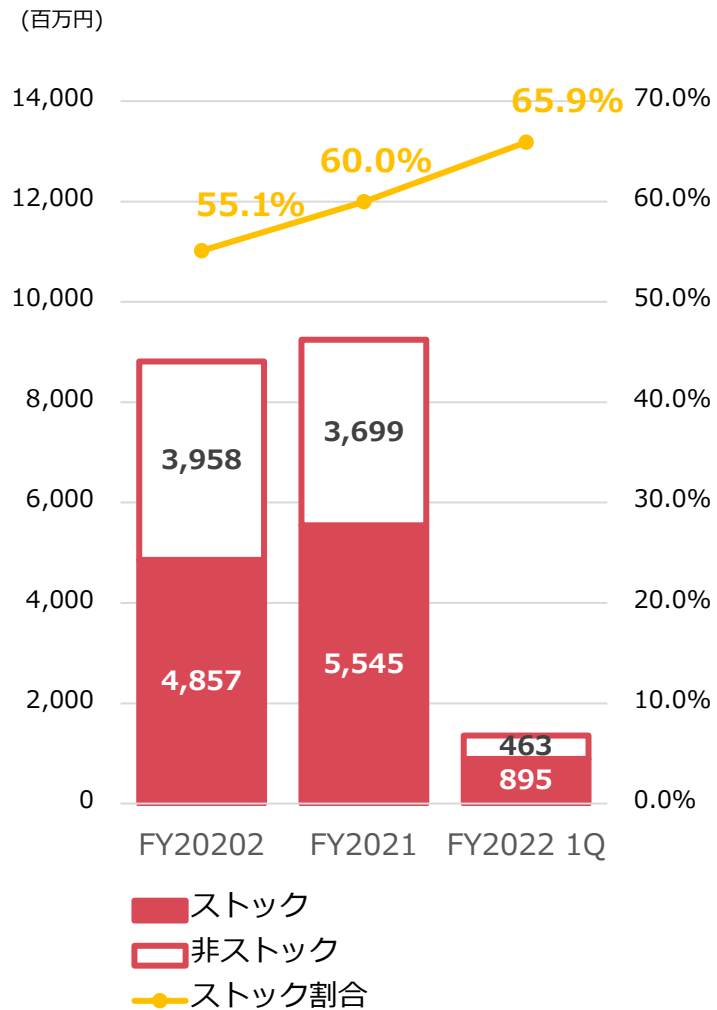




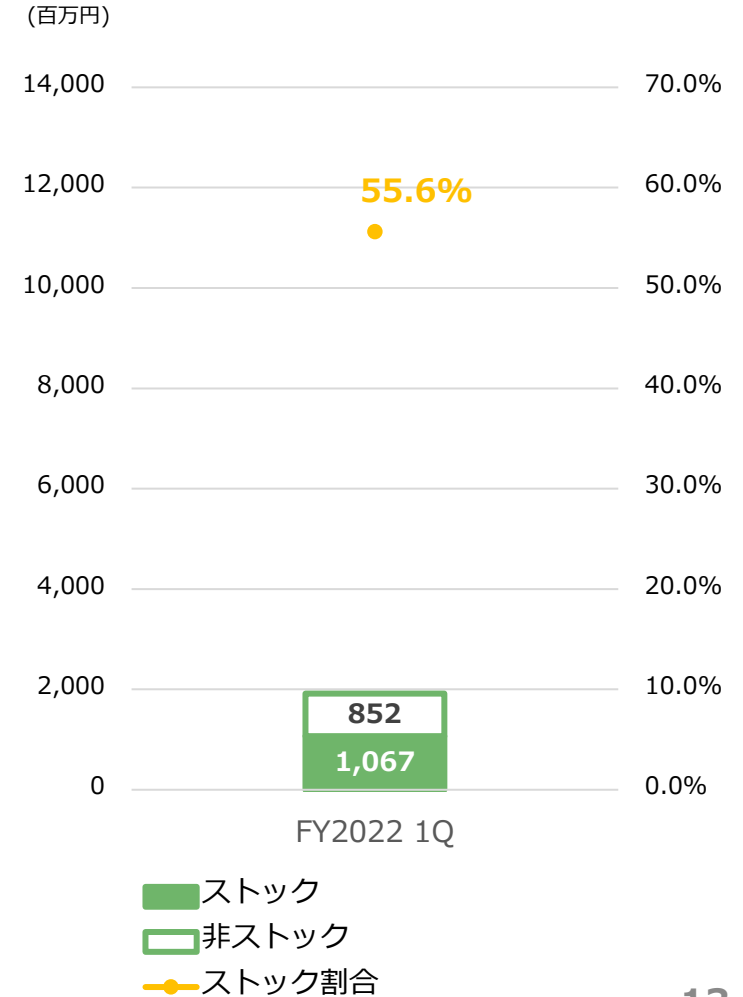
## 情報基盤事業



## アプリケーション・サービス事業



## 医療システム事業



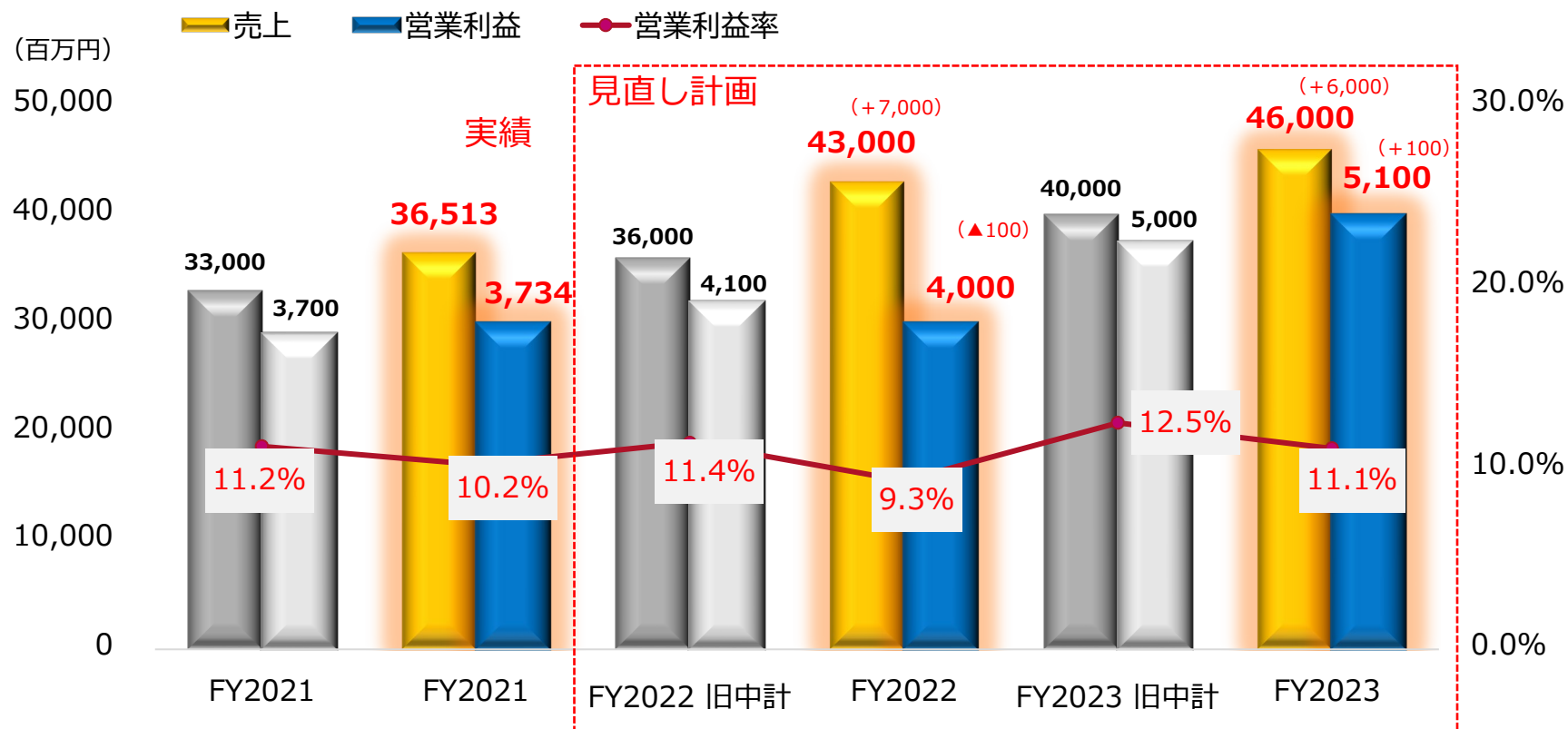


## 2. 2023年3月期 連結業績予想



## 中期経営計画の業績計画の見直し理由

- 先期に連結子会社化したPSP株式会社と株式会社NOBORIの経営統合により、2022年4月1日に**当社連結対象子会社**として新生PSP株式会社が発足。それを受け、**中期経営計画の2年目、3年目の業績計画**の見直しを実施。
- 統合会社は**ストック型ビジネスへの転換**を目的に、医用画像管理システム（PACS）の**クラウドシフトを推進する**予定。クラウドシフトの推進は、**短期的な売上・営業利益の減少要因**となるが、**将来を見据えた経営判断**として断行を予定。
- 39期においては、運送費や廃棄費用、新オフィス造作時の二重家賃など、追加で**本社移転費用およそ2億円**を算入。



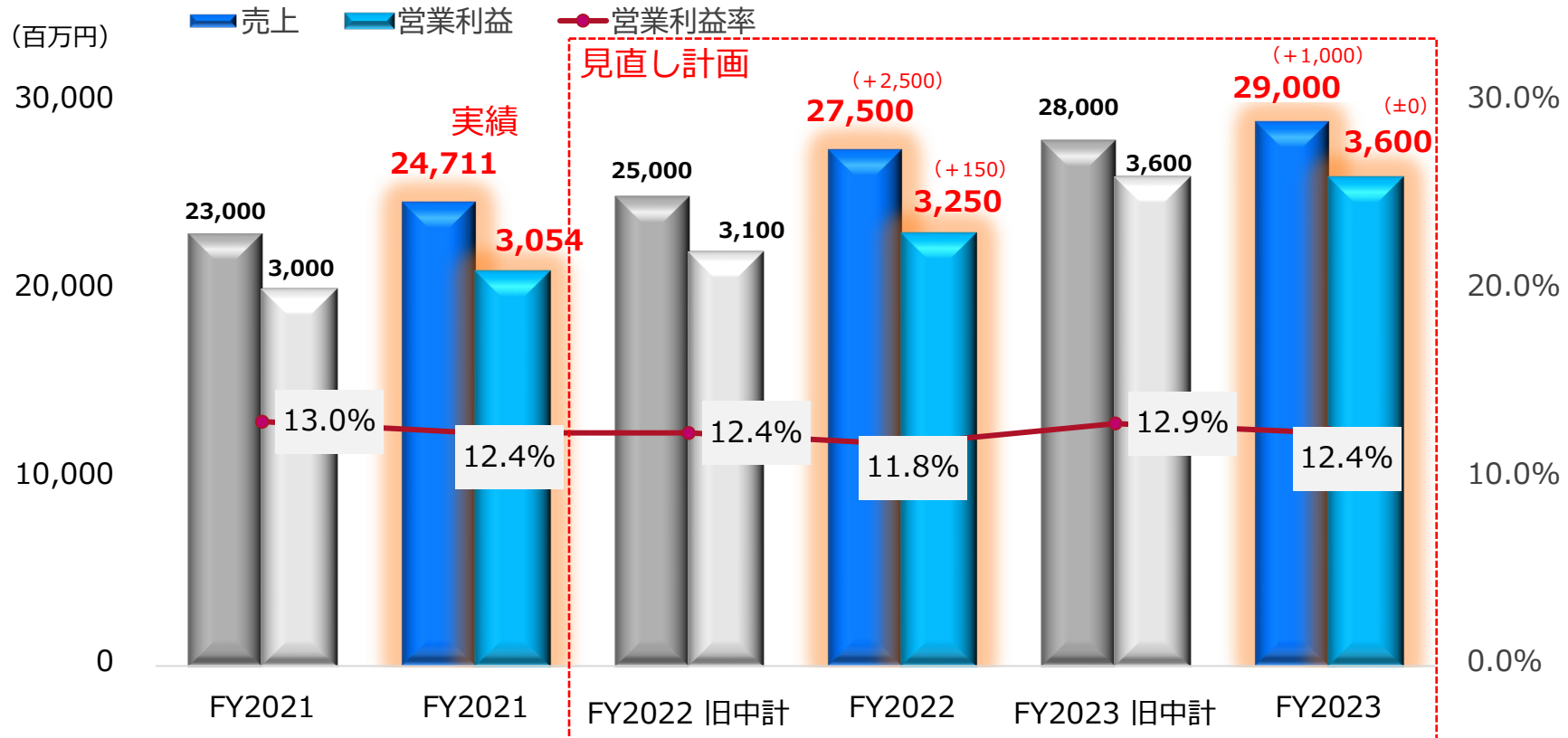




サイバーセキュリティ対策製品・サービスに対する継続的な需要の高まりを考慮して計画を見直し。

- ◆売上収益：クラウド型のセキュリティ製品の需要トレンドを考慮した計画の見直し
- ◆営業利益：統合監視サービスの（TPS）の需要トレンドを考慮した計画の見直し

**※本社移転費用を吸収した上で、営業利益の計画値を上方修正。**





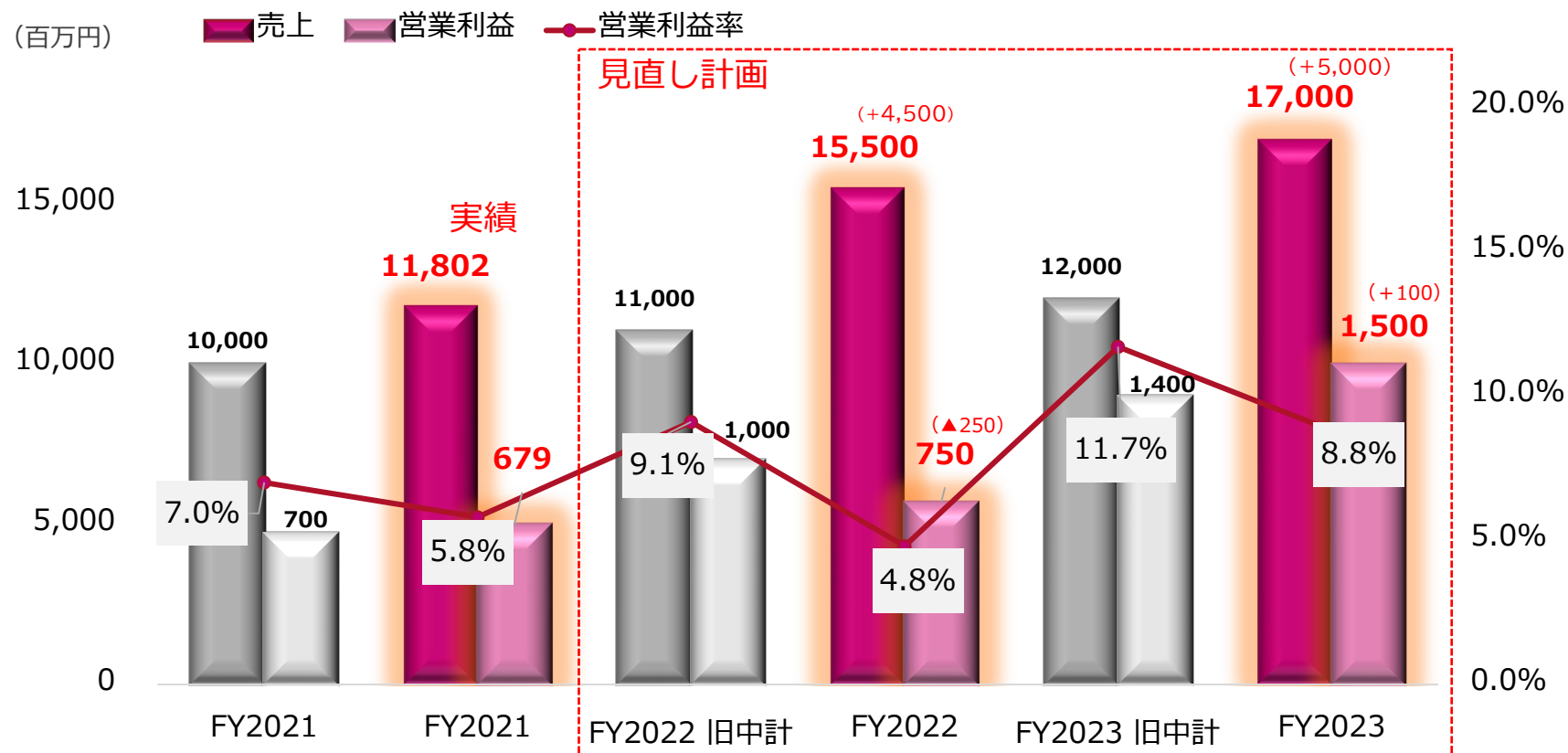
本社移転費用と医用画像管理システム (PACS) のクラウドシフトの推進を考慮して計画を見直し。

◆売上収益：PSP株式会社の連結による増加

◆営業利益：本社移転費用の発生

教育事業に対する投資の継続

旧PSP株式会社の既存導入先施設に対するクラウドシフトの推進





<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp